

平成27年度 長崎大学病院緩和ケア研修会プログラム(単位型)

【9月26日(土曜日)】

8:00~8:30 受付時間+プレテスト

8:30~8:45 研修会開催にあたって(北條美能留)

8:45~10:15 ①緩和ケア概論・つらさの包括的評価と症状緩和(1単位)(北條美能留)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
90分	講義	○患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて(がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む) ○苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について	○緩和ケア概論 ○つらさの包括的評価と症状緩和	①がん緩和ケア概論 ⑥つらさの包括的評価(1単位)

10:20~12:20 ②がん疼痛(1単位)(石井浩二/山崎拓也)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
120分	講義	○がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和に係る治療計画などを含む具体的なマネジメント方法について(放射線治療や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点および多様化する医療用麻薬の使用上の注意点などにも配慮した内容)	○がん疼痛	②がん疼痛の評価と治療(1単位)

13:15~16:35 ③アيسプレーキング・オピオイドを開始する時・疼痛事例検討会(2単位)(中尾勘一郎/出口雅浩)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
200分	ワークショップ	○がん疼痛についてのワークショップ ア グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方 イ ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明について演習	○アイスプレーキング ○オピオイドを開始する時 ○疼痛事例検討会	③がん疼痛についてのワークショップ(2単位)

16:40~17:25 ④地域における医療連携(0.5単位)(中尾勘一郎/出口雅浩)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
45分	ワークショップ	○がん患者の療養場所の選択、地域における、医療連携、在宅における緩和ケアについて	○地域における医療連携	④地域連携と治療・療養の場の選択(0.5単位)

【9月27日(日曜日)】

8:00~8:30 受付時間

8:30~10:00 ⑤呼吸困難、消化器症状(1単位)(福田実/本田琢也)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
90分	講義	○呼吸困難、消化器症状等の疼痛以外の身体症状に対する緩和ケアについて(治療に伴う副作用・合併症等の身体的苦痛の緩和も含む)	○呼吸困難 ○消化器症状	⑤呼吸困難・消化器症状(1単位)

10:05~10:50 ⑥倦怠感(加藤周子)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
45分	講義	○その他 都道府県は次に掲げる項目から地域の状況を踏まえつつ、学習項目を選択し、研修内容に取り入れることア 身体的苦痛の緩和(倦怠感、食欲不振等)イ 精神心理的苦痛の緩和(不眠等)ウ 社会的苦痛の緩和(就業や経済負担等)エ 家族のケア オ がん体験者やケア提供者等からの講演	○倦怠感	⑥身体的苦痛の緩和

10:55~12:25 ⑦気持ちのつらさ・せん妄(1単位)(久保達哉)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
90分	講義	○不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて	○気持ちのつらさ ○せん妄	⑦気持ちのつらさ・せん妄(1単位)

13:25~16:25 ⑧コミュニケーションロールプレイ・コミュニケーション講義(1.5単位)(木下裕久ほか)

時間	内容	緩和ケア研修会標準プログラムを定められた研修内容	詳細	標準プログラム番号
180分	講義	○がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについて(がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明も含む) ○がん緩和ケアにおけるコミュニケーションについてのワークショップ(ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習)	○コミュニケーションロールプレイ ○コミュニケーション講義	⑧がん医療におけるコミュニケーション ⑧ワークショップ(1.5単位)

16:25~16:45 ○ふりかえりとポストテスト